

DSプロファイル

ActiveServerは単一のインスタンスで国際ブランドの**Production Directory Server**と**GPayments TestLabs**両方に接続できる**DSプロファイル**をサポートしています。

- **Production Directory Servers** : [Directory Servers](#) ページで設定された国際ブランド (American Express, Discover, JCB, Mastercard, UnionPay(銀聯) and Visa) ディレクトリサーバー。
- **TestLabs** : **GPayments TestLabs**は、**Directory Server**と**Access Control Server**で構成されます。クライアントが**ActiveServer**インスタンスで機能テストを実行するためのさまざまなカード会員シナリオが設定されています。**ActiveServer**でサポートされているすべての国際ブランドは、**TestLabs**でサポートされています。

TestLabsセットアップ

TestLabsへの継続的なアクセスが必要な場合は、TestLabs DS通信用に追加のポートを開く必要があります。これにより、実稼働国際ブランドのDirectory Serverを使用するのと並行してTestLabsでテストできます。追加のポートは、GPayments TestLabs Directory Serverから外部からアクセスする必要があります。設定は `application-prod.properties` に追加する必要があり、以下にプロパティの例を示します：

```
##-----  
## GPayments TestLabs DS ports  
##  
## GPayments TestLabs directory serversのDSポート  
##-----  
  
## Visa TestLabs  
as.testlab.visa.port=9800  
## falseにセットすることでDSのリスニングポートはオフになります  
# as.testlab.visa.enabled=false  
  
## Mastercard TestLabs  
as.testlab.mastercard.port=9801  
## falseにセットすることでDSのリスニングポートはオフになります  
# as.testlab.jcb.enabled=false  
  
## American Express TestLabs  
as.testlab.amex.port=9802  
## falseにセットすることでDSのリスニングポートはオフになります  
# as.testlab.amex.enabled=false  
  
## Discover TestLabs  
as.testlab.discover.port=9803  
## falseにセットすることでDSのリスニングポートはオフになります  
# as.testlab.discover.enabled=false  
  
## JCB TestLabs  
as.testlab.jcb.port=9804  
## falseにセットすることでDSのリスニングポートはオフになります  
# as.testlab.jcb.enabled=false
```

`application-prod.properties` の設定の詳細については、[クイックスタートガイド](#)を参照してください。

Trans-typeパラメーター

DSプロファイルを使用するには、Production Directory ServerとTestLabsを切り替えるための認証URLに **trans-type** クエリパラメータが必要です。デフォルトでは、テスト目的で、すべての認証リクエストはGPayments TestLabsディレクトリサーバーに送信されます。本番環境に移行するときに、APIリクエストを国際ブランドのディレクトリサーバーに送信するには、**trans-type=prod** クエリパラメータをAPI URLに追加する必要があります。

なぜ **trans-type=prod** クエリパラメータが必要なのか？

API URLにパラメーター「trans-type」を追加することで、テストが完了するまではGPayments TestLabsを使用し、認証要求が誤って国際ブランドディレクトリサーバーに送信されないようにします。

認証リクエストを本番ディレクトリサーバーに送信する場合は、以下のエンドポイントに **trans-type=prod** パラメータを追加する必要があります。

- ・ **BRW**トランザクションの場合、 **InitAuth** プロセス
- ・ **App**および**3RI**トランザクションの **Auth** プロセス
- ・ **Enrol**エンドポイント。

たとえば、 **InitAuth** は本番ディレクトリサーバーの場合、次のURL **https://api.testlab.3dsecure.cloud/api/v2/auth/brw/init?trans-type=prod** で呼び出されます。

上記のとおり、このパラメーターが指定されていない場合、認証リクエストはGPayments TestLabsに送信されます。APIの仕様の詳細については、[APIドキュメント](#)を確認してください。

trans-type パラメータが期待どおりに機能しないのはなぜですか？

サーバー側の設定 **as.auth.allowed-trans-type** がAPIパラメータを上書きするように設定されていないことを確認してください。詳細は[クイックスタートガイド](#)でご確認ください。